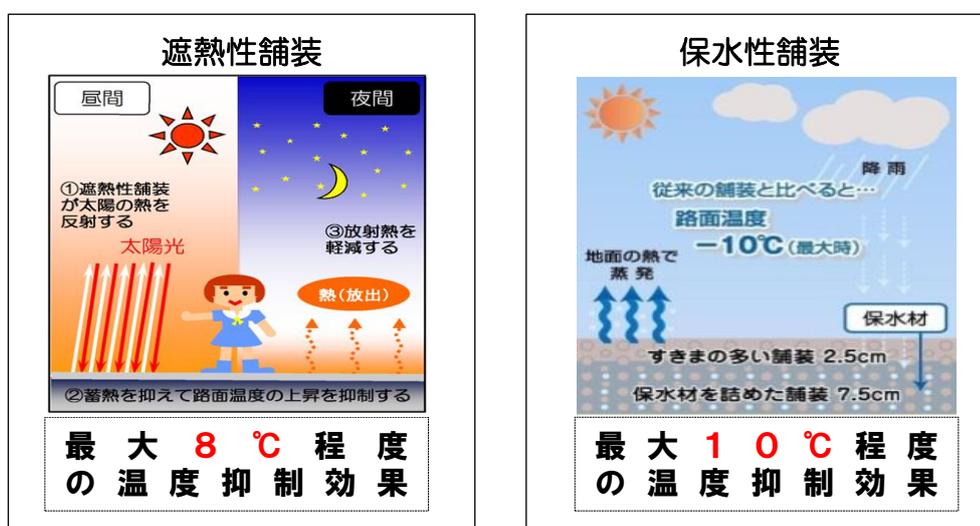


「路面温度上昇抑制機能を有する舗装の整備」について

1 暑さ対策の概要

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路の暑さ対策の一つとして、2020年までにマラソンコースとして想定される路線を含む都道において、当該舗装を、累計約136km整備する。



- 平成28年度末、遮熱性舗装(約86km)保水性舗装(約20km)

2 整備方針

◎整備箇所

- 現道上で実施する競技コース(マラソン・競歩など)
- 競技会場周辺の都道、区市道
(新国立競技場、武蔵野の森総合スポーツ施設等の競技会場等)
(周辺における観客の主な観客の動線となる道路)

◎整備手法

- 都 道：路面補修工事に併せて整備
- 区市道：遮熱性舗装等に対する対象区市への都費補助
(各区市が主体となり整備)

◎調整事項など

- 他事業（バリアフリー化、自転車走行空間、無電柱化事業等）
- 整備実施箇所（競技コース、競技会場周辺）の精査
- アスリート・観客にやさしい道づくりに向けた提言（H28.10）
「アスリート・観客にやさしい道の検討会（国土交通省）」
 - ・散水等によらず効果が持続する遮熱性舗装を積極的に採用
 - ・保水性舗装は継続的に散水が実施できる地区は選択可能

3 今後のスケジュール

H28 まで	H29	H30	H31	H32
都道 約 106km	遮熱性舗装・保水性舗装の整備（約 136km）			2020東京大会
	10km	10km	10km	
	区市道への整備補助			